

休眠預金の『新型コロナウイルス対応緊急支援助成』が始まっています

2月頃より全国で新型コロナウイルスによる影響が拡がり、この地域でも、活動自粛に追い込まれる NPO・ボランティア団体が相次ぎました。そんな中、感染予防対策に試行錯誤しながらも、活動を続けようとしている団体もあります。



そんな方々を応援したいと考え、みえきた市民活動センターは、見出しの「新型コロナウイルス対応緊急支援助成」に資金分配団体として応募しましたが、残念ながら採択されませんでした。

申請額は650万円。きらきら基金の登録団体約140団体のうち、休眠預金活用制度の指定分野に該当する90団体を助成対象とし、皆さんと共に Zoom 会議を重ねながら、コロナ禍での新しい活動のあり方を探っていきたいと考えていました。

詳細は、資金活用団体「日本民間公益活動連携機構(JANPIA)」のサイトに公開されています。
<https://www.janpia.or.jp/>

この『新型コロナウイルス対応緊急支援助成』については、すでに実行団体の公募が始まっている所があります。助成金情報のコーナーでもご紹介していますので、ご覧ください。

今回の申請にあたっては、多くの気づきがありました。

団体も困っているけれど、その先に、本当に支援を求めている人がいるということ。どうすればそこに支援を届けられるのか。

きらきら仲間の皆さんと連携をとりながら、いま取り組めることからやって行きたいと思えます。これからも引き続き、どうぞよろしくお願ひいたします。

助成金セミナー & 相談会

助成金の性質を知り、
申請のためのポイント学びます
個別相談も行います

助成金とは？

申請書記入のポイント

貴方にあった助成金を探します

参加費 無料
(先着各5名)

東員	8月28日(金) 10:00-11:30 東員町総合文化センター第1講習室 (問・申)とういん市民活動支援センター ☎ 86-2866
桑名	8月29日(土) 10:00-11:30 桑名市市民活動センター (問・申)☎ 24-1184
いなべ	8月31日(月) 10:00-11:30 員弁老人福祉センター会議室1 (問・申)いなべ市市民活動センター ☎74-5806

講師 辻久好 地域の未来・志援センター理事



助成金情報

その他にも、CANPAN助成金 検索 で、探してください

- ☆ (公財) 愛恵福祉支援財団
新型コロナウイルス感染拡大に伴う社会福祉活動「緊急助成」
 新型コロナウイルス感染拡大による影響を受け、緊急な対応を迫られている地域や施設の社会福祉活動や社会福祉施設等の事業に対する助成。 〳切：2020年10月10日
- ☆ (公財) JKA 「新型コロナウイルス感染症の拡大防止策に対する支援」
 法人格を有する NPO 法人等でコロナウイルス感染予防・防止の影響により緊急的な対応を必要とする事業。 〳切：2021年3月31日
- ☆ (公財) さわやか福祉財団
地域助け合い基金「コロナ禍を乗り越えて共生社会へ」
 地域で暮らす人同士の助け合い活動(つながりづくりを目的とした居場所・通いの場を含む) * コロナ禍対応助成(当分の間、優先配分) 〳切：2020年5月18日から常時実施
- ☆ くわしん福祉文化協力基金
 社会福祉に関する事業、社会生活環境の整備・保全及び美化に関する事業、文化及びスポーツ事業。 〳切：2021年2月1日
- ☆ SOMPO 福祉財団
NPO 基盤強化資金助成/組織および事業活動の強化資金助成/認定 N P O 法人取得資金助成
 環境保護・環境保全関連の事業活動。 〳切 2020年：10月9日
- ☆ TOYO TIRE グループ環境保護基金
 環境保護・環境保全関連の事業活動。 〳切：2020年9月30日
- ☆ (公財) ヤマト福祉財団
2021年度ヤマト福祉財団助成金/障がい者福祉助成金
 障がいのある方の幸せにつながる事業・活動に対して助成。 〳切：2020年11月30日
- ☆ 社会福祉法人 読売光と愛の事業団/第18回読売福祉文化賞
 社会福祉の各分野で21世紀を切り開く創造的な業績をあげ、障害者や高齢者の暮らしやすい環境づくり、自立支援、社会参加の推進や、困難な状況にある子どもたちの支援などに貢献している団体、個人。 〳切：2020年9月30日



🐾🐾🐾🐾🐾🐾 マスク配布先募集 🐾🐾🐾🐾🐾🐾

桑名市市民活動センターでは、桑名商工会女性部の協力を得て、コロナ対策のマスクの収集を8月末まで行っており、集まった布マスク等をきらきら基金の関係団体に配布する予定です。配布を希望される団体は、桑名市市民活動センター(☎ 24-1184)まで、ご連絡ください。



ねえねえ教えて！



桑名市市民活動センターをみえきた市民活動センターが運営している
そうですが、どういうこと??

平成27年度に初代理事長故服部氏が桑名市の「公民連携公共サービス提案制度」で市民活動センターの運営支援を提案し採択されました。(公民連携事例9)
それに基づいて、平成28年に桑名市が事業者をプロポーザルで公募し、みえきた市民活動センターが一部業務委託を受託しました。(※注)



えっ、その時から桑名市市民活動センターを運営していたの？

いえいえ、平成28年～令和元年の4年間は事業の一部を支援していただけで、市民活動センターや団体の管理は行政が行ってました。みえきたが行っていたのは、相談業務、講座開催、交流会開催、NPO ニュース発行、団体紹介冊子の発行、HPでの情報発信などです。そしてこれらを進める機関としての協働運営委員会の運営をサポートしていました。



桑名市が市民活動センターの委託を募集していたので、今年度みえきたが応募して、この4年間の実績を踏まえて、採択されたのです。場所も新たに専用の部屋に移り、6月から開所しました。みえきたの持つ民間の良さを発揮して、桑名市の市民活動が活性化し、市民サービスが向上するよう努めていきたいです。



じゃあ今年から公設民営になったのですね。これからは腕の見せ所ですね。頑張ってください。

(※注) 桑名市では、公民連携公共サービス提案制度として、市の実施する事務事業のうちから選定したモデル事業について、民間事業者ならではのアイデアとノウハウを活用した提案を募集した結果、「多くの市民(団体)が気楽に集まって、知恵を交換し協働して新たな社会貢献活動を生み出すような環境づくり」の提案が採用され、桑名市市民活動センターの一部運営業務を委託することになりました。

発行元 (特)みえきた市民活動センター
事務局 〒511-0088 桑名市南魚町 86 めがね工房ごうじ内
TEL 0594-27-2700 FAX 0594-27-2733 E-mail info@mie-kita.gr.jp

桑員 まちのかから版 第111号

2020年8月11日発行



コロナ禍での「市民活動応援☆きらきら基金」のあり方は？

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、きらきら基金運営委員会はこの4月からZoomを利用したWEB会議を開催し、議論を重ねてきました。現在、再び感染が広がる中、先行きがつかめなため、秋口まで様子を見て方向性を決めることとしました。

そんな中でも、12月13日(日)にはサンタの行進を行いたい。また、第13回助成事業・第8回企業社会貢献発表も令和3年3月に開催したいと考えており、どうしたら開催できるか、議論しています。

また、きらきら基金に登録している多くの団体もコロナの影響で活動に支障をきたしていることを考えて、今回は、過去に助成を受けた団体も助成が受けられる様にする方向で進めています。ただ、初めて助成を受ける団体が不利にならないような手立ては必要であると認識しています。



市民活動応援☆きらきら基金は、皆さんと一緒に創り上げる基金です

市民活動応援☆きらきら基金は、「必要な資金を受け取ってもらう世界一小さい基金であるが広くどの団体でも受け取ってもらうことのできる」という理念を大事にしています。

関係者の皆さんのお知恵をお借りして、これからも助成事業を続けていきたいと思っております。
コロナ禍という未曾有の出来事を乗り越えるために、皆さんからのアイデアや、忌憚のない意見をお聞かせください。